

Lesson30

※L10 「名詞 N1 に 名詞 N2 が あります」

あります→ 存在動詞。如果僅只敘述場所所有某物、或某物在某場所、而不涉及導致該物「存在」的動作的說明時用下列之句形表達。

① 場所（名詞 1）に物（名詞 2）が ある／いる

例)

→ 教室^{きょうしつ}に椅子^{いす}があります。

→ 教室^{きょうしつ}に学生^{がくせい}がいます。

② 物（名詞 2）は 場所（名詞 1）に ある／いる

例)

→ 椅子^{いす}は 教室^{きょうしつ}にあります。

→ 学生^{がくせい}は 教室^{きょうしつ}にいます。

※ 説話人實際地描写眼前狀態、表某物或某狀態「存在」於場所、使用「自動詞」的句形。

① 場所 に 物 が 自動詞-て いる

例)

→ 部屋^{へや}に水^{みず}が 入っ^{はい}ています。

→ 教室^{きょうしつ}に椅子^{いす}が 並^{なら}んでいます。

② 物 が→は 場所 に 自動詞-て いる

例)

→ 水^{みず}が 教室^{きょうしつ}に 入っ^{はい}ています。

→ 椅子^{いす}が 教室^{きょうしつ}に 並^{なら}んでいます。

※ 若要説明某物或某狀態由於某一人為的動作之影響而「存在」時、使用「他動詞」

① 場所 に 物 が 他動詞-て あります

例)

→ 教^{きょう}室^{しつ}に^{なら}いすが並べてあります。

→ 黒板（こくばん）に^じ字^かが書いてあります。

→ 机^{つくえ}の^{うえ}上^{ほん}に^お本^おが置いてあります。

→ 壁（かべ）に^え絵^かが掛けてあります。

→ 庭^{にわ}に^き木^うが植えてあります。

② 物 は 場所 に 他動詞-て あります

（把「物」作為主題加以提示）

例)

→ 椅子^{いす}は 教^{きょう}室^{しつ}に^{なら}並べてあります。

※ 某狀態因某種人為的動作而存在着

主体 が V-て + あります

例)

→ ドア が ^あ開けて あります。

→ まど が ^し閉めて あります。

→ 電^{でん}氣^き が ^つつけて あります。

→ A: すみません。ドライバーはどこですか。

B: ドライバーはその^び引き^だ出し^{なか}の^{なか}中にしまっています。

※ 「～て います」 和 「～て あります」 的區別
例)

①→A:セロテープはどこですか。

B:セロテープはかばんに^{はい}入っています。(さき見ました)

※強調某人 (or 自己) 之前放進的

②→A:セロテープはどこですか。

B:セロテープはかばんに^い入れてあります。(きのう入れました)

※表針對某件事情而預先進行準備動作

→用於「～て います」的動詞幾乎是自動詞。
而「～て あります」的則是他動詞。

※ V-て + おきます。

例)

→友 達^{ともだち}が来る^く前^{まえ}に、部屋^{へや}を掃除^{そうじ}しておきます。

→試験^{しけん}の前^{まえ}の日^ひに習^{なら}ったところをもう一度よく勉^{べん}強^{きょう}しておきます。

→旅 行^{りょこう}に行く^い前^{まえ}の晩^{ばん}に下着^{したぎ}をかばんの中^{なか}に入れて^いおきます。

→教 室^{きょうしつ}に入る^{はい}前^{まえ}に鉛 筆^{えんぴつ}を削^{けず}っておきます。

① 準備下次使用而完成必要的動作

例)

→はさみを使^{つか}った^ら、元^{もと}の 所^{ところ}にしまっておいてください。

→辞書^{じしょ}を使^{つか}った^ら、本 棚^{ほんだな}に戻^{もど} (もど) しておいてください。

② 讓某結果狀態持續下去

例)

→この 魚^{さかな}をそのまま冷蔵庫^{れいぞうこ}の中^{なか}に入れて^いおいてください。

→窓^{まど}を閉^しめないでそのまま開^{ひら}けておいてください。

→寒^{さむ}いですから、窓^{まど}を閉^しめておいてください。

→お金^{かね}を金庫（きんこ）にしまっておいてください。

在口語中常把「 ～ て おきます 」

→ 「 ～ (て+お→) と きます」

例)

そこに置^おいておいてください。

→そこに置^おいといてください。

→この本は読んどきます。